



# 江府町報

## 6月号

発行者  
鳥取県江府町  
電話 江尾(代) 2211  
編集 企画室  
印刷 (有)富士印刷

**江府町の人口**  
(5月31日現在)

世帯数	1,342 世帯
人口	5,167 人
(前月比)	13 人減
(男)	2,537
(女)	2,630
出生	4
(男)	2
(女)	2
転入	16
(男)	9
(女)	7
転出	26
(男)	12
(女)	14
死亡	7
(男)	4
(女)	3

第150号

### 青空の下、初泳ぎ

#### 明倫小プール開き

真夏のような青空が広がった六月九日、明倫小学校でプール開きが行われ、待ち構えた児童たちが初泳ぎに観声をあげました。

太陽はもう真夏の日差し。この日の水温は二〇・五度。まだ少し冷たいのか「わあくつめたい」といった声が聞かれました。それでも一年ぶりに水の感触を満喫出来るとあって大はしゃぎ。プールサイドで順番を待っている児童たちは「早くプールに入りたい」「まだかな」とそわそわ。

児童たちは、これから九月まで元氣いっぱい水泳訓練に励みます。

▲元氣に水しぶきをあげる児童たち

# 町政のうごき

( 5月臨時町議会における井上町長の行政報告から )

## 同和

・「同和对策事業特別措置法」の強化改正、基本法制定要求実現のため中央総決起集会及び鳥取県東京集会在五月十三日から十五日までの三日間東京都で開かれ、本町からは、町長、教育長、同和室長、議会議長、地元代表が参加しました。

## 財政

・昭和五十六年度軽自動車税と固定資産税を調定し、それぞれ賦課を行いました。(五月現在)

軽自動車税 四、一六二千元

(昨年対比一、五%増)

固定資産税 一〇七、五三九千円

(昨年対比二〇、二%増)

## 保健

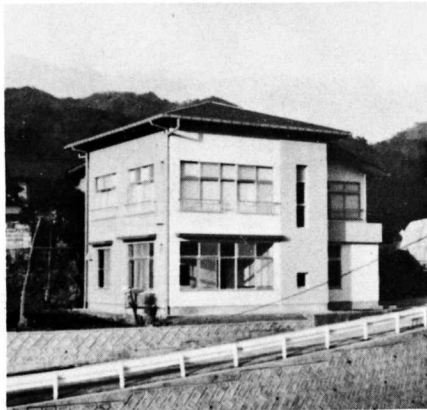
・四月十六日から八日間胃がん検診を実施、受診者三五四人、内要精密検査者は、五四人(一五%)

## 昭和55年度

# こんな施設が完成

## 電源立地交付金事業

昭和四十九年度に電源三法交付金制度が設けられ、発電所が建設される市町村とその周辺に對して、公共施設を整備するための交付金が交付されることになりました。これは、発電所の建設によって安定した電気の供給を受ける利益の一部を地元地域に還元し、地域の生活向上に役立てようとするものです。本町も、昭和五十五年三月侯野川発電所の建設認可によってこの制度の適用を受け、総額十一億五千二百萬円の交付金事業枠を取得し、昭和五十五年度から地域の整備をはかるための事業を行ってまいりますが、昭和五十五年度の事業として、他の国の制度事業も一部併用し次の施設を完成しました。

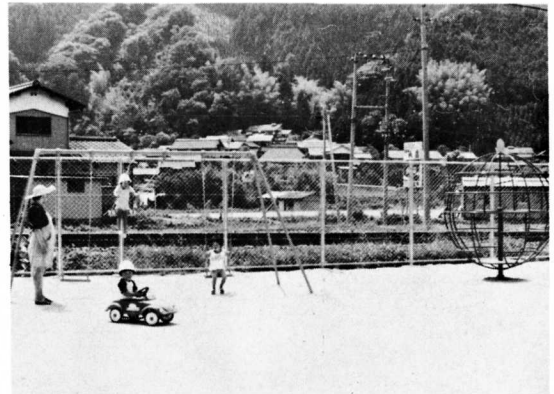


▶地域の文化施設として期待される日の詰多目的研修集会所

## 昭和55年度電源立地交付金事業

(単位千円)

事業名	事業量	事業費	内電源交付金
池の内水路改修工事	L:168.15m	9,149	9,149
新道地区児童遊園地造成工事	807㎡	10,332	10,332
武庫地区有線放送施設	33戸	2,779	2,779
町民総合運動場造成工事	22,823㎡ うちグラウンド 12,700㎡	72,000	57,000
尾上原多目的研修集会所施設	鉄骨2階 248.31㎡	37,636	22,735
日の詰多目的研修集会所施設	鉄骨2階 183.37㎡	25,087	14,086
深山口多目的研修集会所施設	木造2階 102.45㎡	14,992	8,189



▲遊具施設も設けられ、思いっきり遊べる新道地区児童遊園地

# 町長日誌

\* 4 月

- 1日(水) 郡共済組合開所式、町農協総代会
- 2日(木) 庁内会、深山口集会所しゅん工式
- 3日(金) 町身障者福祉協議会総会、町職員採用試験
- 4日(土) 各小学校入学式
- 6日(月) 全国自然休養村総会(東京)
- 10日(金) 西部町村長会
- 11日(土) 町老人クラブ連合会総会
- 12日(日) 在勤
- 13日(月) 農政局用地課長・洲河崎役員・中電副社長来庁
- 15日(木) 新年度区長会、町体育協会総会、侯野小学校長歓迎会
- 16日(木) 武庫老人クラブ総会、土木事業入札
- 17日(金) 岸本町体育館しゅん工式、県植樹祭(日野町)、柿原行政座談会
- 18日(土) 川筋老人クラブ総会、俳句教室
- 19日(日) 自衛消防隊員講習会、江尾テレビ組合総会、

でした。

町民の保健衛生対策は、最も重要な行政の一つとして意を注いでおるところですが、今後一層積極的な健康対策を進め、住民健康管理に万全を期す所存であります。

### 町民

- ・計画中の町慰霊塔合祀者銘碑が完成、黒御影石に三〇三霊名を刻み、慰霊塔に奉斎しました。
- ・福祉団体の総会が次のとおり開かれ、お互い同志の契りを固めようと明るく前向きの話し合いがなされました。

- 四月三日、身体障害者福祉協会
- 四月十二日 老人クラブ連合会
- 四月二十六日 母子会
- 五月七日 遺族会

### 農林

- ・五月十三日、会計検査院第四局農林水産検査第一課の会計実地検査が行われ、検査対象とされた昭和五十三年度、五十四年度農業関係事業、自然休養村整備事業のうち、次の事業について受検しました。

地区再編農業構造改善事業（袋原多目的研修集会施設、下袋原水路改良）、緑の村整備事業（探勝路）、野菜集団産地育成事業（農業機械導入）、地域農政特別対策事業（大万水路改良） 山村振興対策事業（山村開発センター）

## 町議選立候補者20名

### ——町長選挙は無投票——



任期満了に伴う江府町議会議員一般選挙と、江府町長選挙は、六月十四日告示され、十五日に立候補の届出を締切りました。

この結果、町長選挙では井上健治・現町長のほか立候補の届出がなく、投票は行われぬことになりました。

一方、議会議員選挙では、十六名の定員に対し次の二十名が立候補、二十一日の投票日へむかって選挙運動を展開しています。

（町選挙管理委員会告示から）

### 入場券はとどきましたか

この選挙の入場券を各部落の区長、班長さんを通じてそれぞれのご家庭に配布しましたが、もしも未着の人があれば、町選挙管理委員会（電話 二二二一）にご連絡下さい。

投票所と投票時間は、あなたの入場券に書いてある場所と時間です。

候補者氏名	住所	生年月日	党派	職業
浜本 博	江尾	大8・11・11	無	会社社長
藤原 米治	武庫	大2・7・14	自民	農
中尾 雄三郎	俣野	大14・3・7	無	農
清水 要範	吉原	大14・6・24	無	農
中田 博	御机	昭3・10・13	無	農
浦部 秀人	洲河崎	大13・2・1	無	自営業主
住田 孝治	佐川	大12・8・29	無	会社社長
岡田 京三	貝田	大14・11・1	無	農
河上 貞也	宮市	昭16・4・15	無	農
川上 正	美用	大10・4・1	無	農
竹茂 導	俣野	大3・8・9	無	農
坂口 理郎	俣野	昭11・8・16	無	農
白石 秀之	江尾	大14・1・29	無	会社社長
遠藤 量之	江尾	昭8・12・10	社会	農
中村 眞佐雄	下安井	昭3・9・24	無	農
川上 実	小江尾	大15・4・19	無	会社社長
加藤 憲三	俣野	大15・10・28	無	農
加藤 寛	佐川	大2・12・6	無	会社役員
藤原 嘉久	俣野	大15・3・31	無	農
下村 矛雄	佐川	大3・7・7	自民	農

### \*5 月

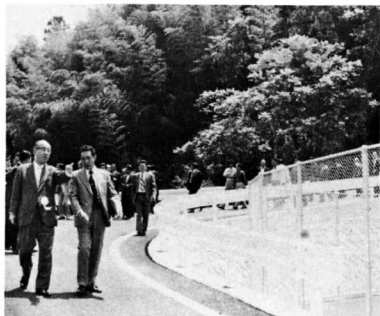
- 20日(月) 結婚式
- 20日(月) 臨時町議会
- 21日(火) 中電防犯協力会、国民年金委員会
- 22日(水) 甘酒運営委員研修
- 23日(木) 岸本町二十五周年記念式典、職員互助会
- 24日(金) 商工会青年部会
- 25日(土) 江尾区総会、母子会総会（米子）
- 26日(日) 米沢財産区会、俣野発電所建設現場視察
- 27日(月) 下安井役員来庁、商工会婦人会、行政連絡員会議
- 28日(火) 明德学園入園式、町道佐川線完成式
- 30日(木)
- 1日(金) 庁内会、婦人団体連絡協議会総会、御机行政座談会
- 2日(土) 清掃組合運営委員会
- 5日(火) 結婚式
- 6日(水) 保健委員会、保健対策委員会、県同和対策協議会
- 7日(木) 西部町村長会評議員会（米子）
- 8日(金) 江尾区役員会、同和事業調査
- 9日(土) 在勤
- 11日(月) 江尾水道総会、選挙管

# まちのわだい

## 地区道路が完成

### 本五地区

五月三十日、本町五丁目地内地区道路（二四〇号）及び地区広場



完成した地区道路  
右側フェンスは地区広場

木嶋義輝さん（俣野）からあた  
たかい便りが届きましたので、紹  
介します。ほんとうに、中尾さん  
いつまでも元気で奉仕活動に参加  
して下さい。

### ありがとうお婆さん

俣野老人クラブ連合会では、十  
数年前から年に四回、池の内と奥  
部（尾上原、日の詰、深山口）と  
交互に熊野神社の清掃奉仕を行っ  
ています。

とくに、日の詰の中尾ちようさ  
ん（九十一歳）は、清掃奉仕に一

回も欠席された事がありません。  
信仰心も厚く、定刻までには、三  
き近い道のりを元氣よく歩いて参  
加されます。「杖は面倒な」と杖  
をついて参加された姿は、全く見  
かけた事がありません。

二年前までは、四き離れた三平  
山に朝早くから山菜取りに出かけ  
背負って帰えられたこともあるそ  
うです。

四月十三日 五十六年度の春の  
神社清掃を奥部の当番で行いまし  
た。近年にない豪雪とたびたびの  
台風のため社務所前の広場や石段  
等には、落葉や枯枝等がもぐもぐ  
する程積っていました。今回もお

婆さんは、参加しがいがいしく元  
氣を出して作業を続けられました。  
そういうお婆さんの姿を見て出席  
した他の老人も休んでおられませ  
ん。元氣を出して、予定時間より  
も早く終了しました。

お婆さんは、後を振り向いて、  
「今年もお宮がきれいになってい  
いなあ」と表情は明るい。この  
お婆さんの後姿を見て思わず、  
「お婆さんありがとう」と手を合  
せたい気持ちでいっぱいでした。

お婆さんいつまでも健康に氣を  
つけて、この奉仕を続けて下さる  
よう祈ります。

（四九七平方メートル）が完成し、しゅ  
ん工式が盛大に行われました。  
この道路は、本町五丁目地内の  
町道宮ノ段線の延長で、今まで片  
方出入口で一朝夕の事の際抜け道が  
なく心配されていました。  
この完成で、非難場所としての  
地区広場を経て地区集会所に通じ  
ることになり、防火水そうの新設  
と合せて地元町民は大変喜んでい  
ます。

### ふるさと祭り

#### 一旦の弘法さん

五月二十四日、一旦の弘法さん



の縁日が行われ、あいにくの雨模  
様の中を、一旦地区の老人クラブ  
会員で朝早くから弘法さんの掃除  
やお供えをしたりして、縁日を祝  
いました。

その昔、歩危と呼ばれた交通の  
難所にまつられている一旦の弘法  
さん信仰は古くから行われ、月の

二十一日は「お大  
師さんの縁日」と  
して村中を休日  
にして、信者からのお  
供えに村からお  
菓子などを添えて  
終日通行人に接待  
していました。ま  
た、のぼりを作っ  
て、村中各戸が交

代で日参し、村の貯金日にするな  
ど、生活に根ざした信仰がつつい  
たものです。

時代と共にふるさとのまつりは、  
形こそ変われ、弘法さんは、今日  
も目の前を通る多くの車に無事故  
の守りを与えています。

（写真は、一旦の弘法さんの掃除  
をする老人クラブ会員）

## 町職員人事

### 新採用

五月一日付

子供の国保育園

園長補佐

藤原 敏江

### 理委員会

12日(火)

同対法強化中央総決起  
集会及び鳥取県東京集

15日(金)

会（東京）  
新道役員来庁、国体山

16日(土)

岳部会場正規視察

18日(月)

町学校教育振興会総会

19日(火)

三町衛生施設組合議会議

20日(水)

商工会観光部会総会

21日(木)

農業振興局長来庁  
在勤

22日(金)

江尾財産区会

23日(土)

町商工会総会

24日(日)

臨時町議会

25日(月)

郡身障者福祉大会、郡

26日(火)

同和教育学習会

27日(水)

森林組合総代会

28日(木)

青年団役員会、武庫発

29日(金)

電対策委員会来庁、食生

30日(土)

活改善開講式  
溝口警察地区防犯協議  
会総会、日の詰役員来  
庁、農林事業入札

本五地区道路完成式

国民年金

国民年金を増額

拠出年金は七月から

拠出年金 (昭和56年7月から改正)

年金種別	現行	改正	備考
25年定額納付	504,000円	543,300円	
10年年金	318,600	343,500	
5年年金	271,200	292,400	
1級障害年金	627,000	675,900	
2級障害年金	501,600	540,700	
母子・準母子・遺児年金	501,600	540,700	母子・準母子加算180,000円はすえ置

福祉年金 (昭和56年8月から改正)

区分	年金種別	現行	改正	備考	
年金額	老齢福祉年金	270,000	288,000	扶養義務者等の収入(6人世帯)が600万円以上876万円未満のときは、12,000円が支給停止	
	障害福祉年金	1級	405,600	432,000	
		2級	270,000	288,000	
	母子・準母子福祉年金	351,600	374,400		
所得制限(2人世帯)	老齢福祉年金	2,164,000	2,266,000	すえ置	
	障害福祉年金		3,000,000		
	母子・準母子福祉年金	3,610,000			
	扶養義務者所得制限	8,760,000			
一般の公的年金との併給限度額	450,000	480,000			

国民年金法が改正され、拠出年金については、昭和五十六年七月から、福祉年金は、昭和五十六年八月から年金額が引き上げられることになりました。

これは、昭和五十六年度全国消費者物価指数の上昇率が六・八%であったことにより、スライド改定されたものです。

改正された年金額は右表のとおりです。

年金コンクールで年金広報特別賞

5月8日、鳥取県国民年金協議会総会がひらかれ、席上、江府町は国民年金広報コンクールで年金広報特別賞を受けました。

これは、江府町が毎月掲載している国民年金の記事の内容と、これを反映する事務実績について審査機関で評価されるものです。

人の動き

(四月届)

☑お誕生おめでとう

武庫 金田 直子 守 長女  
池ノ内 加藤 礼子 算則 長女  
本五 村上 寛奈 成人 長女  
本五 景山 慎一 純子 長男  
久連 梅地なつ絵 俊夫 二女

☑ご結婚を祝します

仲元 功允 京都市山科区  
河上和恵 杉谷から

高山 和典 福岡県三浦郡  
下垣いくこ 美用から

亀田 武志 大河原  
池本真由美 米子市道笑町から

宮倉 宏明 西伯郡西伯町  
手島 春美 小江尾から

小瀧 忠之 武庫  
田枝志津江 日野町根雨から

山花 裕道 米子市彦名町  
宇田川昌子 小江尾から

入江 雅之 溝口町金屋谷  
北村 順子 助澤から

高鳥 豊久 福井県小浜市  
妹尾 清美 吉原から

宮崎 利夫 岡山県新見市  
新 恵利子 御机から

岡本 敏美 久連  
森 綾子 広島県呉市から

上村 健二 島根県八束郡から  
森 あつ子 武庫

☑ごめい福を祈ります

御机 新 悟郎 82歳 定宅  
尾上原 富田祐雄 73歳 公一宅

(五月届)

☑お誕生おめでとう

新一 足立 洋 昇 長男  
本一 川上奈菜美 卓也 長女  
美用 下垣 亮 研一 二男  
荒田 藤谷慶子 開三 長女

☑ご結婚を祝します

釜垂 次郎 岡山県上房郡  
関内由紀枝 江尾から

川上 豊 江尾  
上田 陽子 岡山県上房郡から

樋口 和夫 佐賀県多久市  
上前 陽子 助澤から

関内 崇利 久連  
入江 京子 溝口町金屋谷から

下村 雅史 佐川  
野々内 雅子 米子市車尾から

福羅 修二 東伯郡東郷町  
福田恵美子 江尾から

山本 孝弘 山口県岩国市  
宇田川律子 武庫から

安達 順一 島根県八束郡  
清水 春美 吉原から

福永 修治 東伯郡関金町  
中尾 京子 俣野から

三浦 吉明 大阪府南河内郡  
川上 京子 美用から

西井 敏徳 三重県志摩郡  
三好 和恵 洲河崎から

☑ごめい福を祈ります

美用 河合 琴 88歳 保宅  
日ノ詰 遠藤しづ江 73歳 公司宅  
大万 山口榮次郎 77歳 昌義宅  
本二 山本恵衛門 90歳 富博宅  
新二 吉田 幸佳 40歳 正宅  
宮市 末次 清治 79歳 理治宅  
本一 木村 金市 46歳 川上鴨子宅

ふるさと歳時記 ⑧

士族授産寄投金御見切願

郷土の近世生活史料

この文書は明治二十一年六月に作られたもので、年代は少し新しいが余り知られていない事例なので特に紹介しておきたい。

内容は洲河崎村の佐々木常吉以下三十四名が連署をもって、山田信道・鳥取県知事に提出したもので「本県士族授産金ノ為メ、寄投金ニ致旨」で、明治十七年に上申し、翌十八年一期分として全額の二割を納めたが、

私どもの生計も思わしくなく、又、金融もつきかねるので、既納の金は「寄付金ニ変更シ」残金については「悉皆御見切被下」よう、戸長の奥印をつけてお願いする。というのである。

鳥取藩では、武士が受取る家禄(給料)を抵当にして金融が行われていたが、維新によって一切の家禄を失った人たちの生活は、極度に困窮し、産業資本として頂戴の官林を売却(明治7年 貝田村窪林を同村へ)鳥取の米屋へ備われ、米を盗む(11年)同志五十名を募り福島県安積野へ入植(13年)集団強盗となり、根雨の近藤、東伯小

鹿谷の市橋に押入る(13年)授産法について県に出願、容れられず暴動のきざし(14年)鳥取には乞食を行う士族が多く、放っておけないので鳥取教育院を建てて収容(17年)など、さまざまな社会問題が起きている。

当時旧鳥取藩士族は五千四百六十一戸(15年)といわれ、このうち貧困士族は三分の一を占めている。明治十四年に着任した県令山田信道は、士族二千人を北海道へ移住させる計画をたて、十七、二十一年までに四百三十三戸を釧路・根室・岩見沢・江別の各地に移住させており、さまざまな移住哀話が残されている。

このような社会背景、加えて上掲文書で「上申し」という明治十七年は、松方内閣のデフレ政策が頂点に達した年であり、士族ばかりでなく、中、小農の貧窮も極に達している。

現在この文書にいう「寄投金」と「寄付金」の区分別がどのようなものなのか、資料を入手していないが、政府資金の緊縮に伴い士族の授産基金を公募したものではないかと思われる。これと逆は三十年代に至って「鳥取県士族授産資金費消(使いこみ)事件も起きており、世の非難を浴びたであろうことを思わせる。(資料提供 洲河崎 佐々木正氏)

ありがとうございます

ごさいました

(四月中寄託分)

香典返しとして

内祝いとして

- 新二 手島重敬(逝去)
- (父浅重様(逝去))
- 御机 新 定殿
- (養父梧郎様(逝去))
- 新二 生田洋二郎殿(本人様退院)
- 貝田 森田 正三殿(本人様退院)
- 貝田 森田 繁夫殿(本人様退院)

善意銀行受払報告

- 1. 三月末累計額 三百五十万五千九百九十円
- 2. 四月中寄付額 十五万円
- 快気祝 内 祝 十二万円
- 香典返し 三万円
- 3. 支出額
- 社会福祉基金積立二百五十万円
- 定期預金 五十万円
- 需用費 一万七千四百円
- 負担金他 十五万六千三百四十円
- 4. 四月末累計額 八万六千九百六十円

特別寄付

- 御机 仲田 素男殿(本人様退院)
- 御机 長岡 房江殿(本人様退院)
- 本五 原 桃代殿(本人様退院)
- 大河原 清水 千尋殿(本人様退院)
- 小原 川上 副子殿(本人様退院)
- 栗尾 末次よし子殿(本人様退院)
- 柿原 加藤満壽幸殿
- 竹ぼうき30本

(五月中寄託分)

香典返しとして

尾上原 富田 公一殿

- 美 用 河合 保殿
- (母琴様(逝去))
- 日の詰 遠藤 公司殿
- (母しづ江様(逝去))
- 大 万 山口 昌義殿
- (養父榮次郎様(逝去))
- 本 二 山本 富博殿
- (祖父惠衛門様(逝去))

内祝いとして

- 貝田 藤原 富秋殿(本人様退院)
- 貝田 遠藤 才殿(本人様退院)
- 小江尾 篠田きよ子殿(本人様退院)

善意銀行受払報告

- 1. 四月末累計額 八万六千九百六十円
- 2. 五月中寄付額 二十九万五千円
- 快気祝 内 祝 八万五千円
- 香典返し 十一万円
- その他 十万円
- 3. 支出額
- 寄付金 五千円
- 明倫小学校払出し 十万円
- 4. 五月末累計額 二十七万六千九百六十円

特別寄付

- 本三 小谷 元伸殿(父忠治様退院)
  - 佐川 三浦あきよ殿(本人様退院)
  - 佐川 住田 弘視殿(本人様退院)
  - 大河原 安田 幸司殿(本人様退院)
  - 久連 谷口 光代殿(本人様退院)
  - 新一 川端 睦子殿(本人様退院)
  - 大万 山口昌義殿
  - 車いす
  - 本四 佐伯晴代殿
  - 明倫小学校図書費として
- 以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。 江府町社会福祉協議会